

平成24年度 リニアドライブ技術委員会 活動報告

委員長 北野淳一

1. 技術会合(シンポジウム, 見学会, 産業応用フォーラム, 講習会) ※年度内(4月～翌年3月)分をすべて記載.

開催日	会合種類	会合名	場所	実施状況
3/9	産業応用フォーラム	環境調和型社会と磁気浮上技術の動向	日本交通協会	15名
3/23	全国大会シンポジウム	S16 新世代アクチュエータの多自由度化可能性について	広島工業大学	50名
7/20	見学会(TER/LD)	JR東日本ATACS@仙石線	仙台	30名
8/21	D部門大会シンポジウム	産業用リニアドライブ技術と応用の変遷	千葉工業大学	50名
10/5	見学会	産業技術総合研究所	つくば	
10/29	産業応用フォーラム	新世代アクチュエータの多自由度化可能性	秋葉原	

2. 研究会予定と実施(実績/予定) ※1月～12月, および翌年1月～3月をすべて記載.

開催年月日	H24.1.21,22	H24.7/19,20	H24.8/7,8	H24.11/16,17	H24.12/13,14	H25.2/21,22	H25.3/11,12
テーマ (共催機関)	「磁気医療 応用技術, リニア ドライブの応 用技術, およ び磁気応用一 般」 (A部門 MAG 共催)	「鉄道技術・リ ニアドライブ一 般」 (TER共催)	「小形モータ・ リニアドライ ブ・家電モー ター一般」 (RM/HCA共 催)	「医用アクチュ エーション・リ ニアドライブ一 般」	「モータドライ ブ・リニアドラ イブ一般」 (MD共催)	「リニアドライ ブ一般」	「新世代アク チュエータの 多自由度化・リ ニアドライブ一 般」
場所	金沢	仙台	大阪	東京	高知	東京	東京
日数	2	2	2	2	2	2	2
論文数(実績/予定)	22/20	14/15	29/20	/10	/20	/20	/20
論文累計(実績/予定)	22/20	36/35	65/55	/65	/85	/20	/40
参加者数	79	77	95				

3. 特記事項

- ・技術報告第1247号「磁気支持応用技術と環境調和」2012年4月20日発行(環境調和型磁気支持応用技術(調))
- ・第24回「電磁力関連のダイナミクス」シンポジウム 主催 (5/16～18, 富山) 150件, 約200名
- ・技術報告第1259号「産業用リニアドライブ技術と応用と変遷」2012年 月 日発行(産業用LD技術&応用変遷(調))
- ・電気学会誌「技術探索」『産業用リニアドライブ技術と応用の変遷』2013年1月号掲載予定(産業用LD技術&応用変遷(調))
- ・国際会議第9回LDIA2013 共催 2013/7/7～10 杭州 中国
- ・国際会議MAGLEV2014 2014/9/21～24 UFRJ, Brazil
- ・国際会議第10回LDIA2015 共催 Aachen, Germany

以上